

平成 17 年 11 月 11 日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	鋼構造設計標準の国際化対応 小委員会	委員長 (分科会長)	前田 研一	連絡幹事	田中 雅人
活動予定期間	平成 15 年 11 月 ~ 平成 17 年 10 月 (2 ヵ年)				
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO/TC98 (設計の基本)、TC108 (振動)、TC167 (鋼構造) および CEN/TC250 (構造設計ユーロコード) など鋼構造に関する設計標準の国際化に主導的に対応できるようにするために、国土交通省や日本鉄鋼連盟等関係各学協会との連携の中から、鋼構造委員会として果たすべき役割分担を明確にする。 ・ ISO 規格、CEN 規格等、国際・海外規格の制定動向を継続的にモニタリングして分析するとともに、国際化対応のための調査や啓蒙事業を企画する。 ・ 土木学会 ISO 対応特別委員会に鋼構造委員会としてサポートをするとともに、ISO/TC98 (設計の基本) 国内対応活動に土木鋼構造分野の立場から参画する。 				
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 17 年 5 月 17 日に第 6 回小委員会を以下の議事で開催。 <ul style="list-style-type: none"> ① ISO/TC98/SC2/WG10 Durability の国内 WG への対応 (NW I 13823 の和訳とコメント (建コン), および WD13823) ② ユーロコード 3 最終版の内容検討結果 (橋建) について ③ JSSC 国際委員会 (TC167 関連) の国際整合化 WG の立ち上げについて ・ 平成 17 年 8 月 5 日に第 7 回小委員会を以下の議事で開催。 <ul style="list-style-type: none"> ① 空港港湾技研における海洋構造物基準における取り組みの状況 ② EUROSTEEL '05 におけるユーロコード実施に関する最新情報 ③ ユーロコード 3 最終版における National Annex 適用条項 (橋建) について ・ 平成 17 年 10 月 21 日に最終第 8 回小委員会を以下の議事で開催。 <ul style="list-style-type: none"> ① 各委員の所属機関が今後どのように連携して対応していくべきかの検討 ② ユーロコード 3 最終版における重点項目の内容再検討結果 (橋建) について ③ 最終報告書の内容について 				
今後の活動計画と目標とする成果	<p>本小委員会の活動は、当初の予定通り平成 17 年 10 月末で終了した。ただし、最終報告書 (CD 版) については、一部検討中のものが残っており、12 月末を目標に取りまとめる計画である。</p> <p>最終報告書の内容については、発足時の成果目標に即して、以下のような内容になる予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ISO/TC167 (鋼構造) 対応活動に関する成果 2) ISO/TC98 (設計の基本)、TC108 (振動) 対応活動に関する成果 3) ユーロコード 3 最終版における重点項目の内容検討に関する成果 (EUROSTEEL '05 における最新情報を含む) 4) 土木学会 ISO 対応特別委員会へのサポートに関する成果 5) 鋼構造設計標準の国際化対応に、土木学会鋼構造委員会、関連各協会・研究機関等が果たすべき役割と連携 (ネットワーク等) に関する検討 				
その他	最終報告書 (CD 版) については、鋼構造委員会の委員各位にも配布する計画であり、追って事務局より連絡するものとする。				